

「緊急通報システム」が新しくなりました

詳細 総合福祉課 ☎(32)6345

病気のある高齢者や身体に障がいのある方の安全の確保と不安の解消を図るための緊急通報システムが新しくなりました。

- 対象** ①65歳以上のひとり暮らしの方または65歳以上の方のみで構成される世帯で、緊急時の通報が困難であると認められる方
②身体障害者手帳1級から3級の方のみの世帯

内容

■ **緊急通報** 急な体調不良などにより非常ボタンを押した場合や、火災センサー、見守りセンサーが異常を検知した場合、セコムに通報が入り、必要に応じてセコムが自宅に駆け付けてくれるほか、事前登録した緊急連絡先や救急などに連絡してくれます。

★携帯電話だけでも利用可能となりました

★見守りセンサー(人感センサー)が新たに設置され、12時間以上動きがない場合、通報が入ります

★事前に鍵を預けておくことで、利用者が動けない場合などでも事業者が自宅の鍵を開けて、救助活動などを行ってくれるようになります

■ **健康相談** サポートセンター常駐の看護師などに、24時間いつでも健康に関する相談が可能です。また、月に1回サポートセンターから安否確認の電話があります。

※現在、現行利用者の機器を入れ替えており、新規申込者は、状況により1月以降の設置となる可能性があります

申し込み 総合福祉課

高齢者虐待を防ぎましょう

詳細 介護福祉課 ☎(32)6347

高齢者虐待とは?

高齢者虐待防止法では、高齢者が介護者から、不適切な行為や扱いによって権利・利益を侵害される状態、生命・健康・生活が損なわれる状態におかれることを『高齢者虐待』と定義しています。高齢者虐待は、身体的虐待/心理的虐待/介護・世話の放棄・放任(ネグレクト)/経済的虐待/性的虐待の大きく5種類に分けられます。

介護をしている方へ

一人で悩まず、抱え込まず、市介護福祉課またはお近くの地域包括支援センターへご相談ください。

■ 高齢者虐待の相談・通報先

市介護福祉課	☎(32)6347	山手地域包括支援センター	☎(71)5565	明野地域包括支援センター	☎(53)4165
西地域包括支援センター	☎(61)7600	南地域包括支援センター	☎(71)5005	東地域包括支援センター	☎(52)1155
しらかば地域包括支援センター	☎(71)5225	中央地域包括支援センター	☎(36)3712		

相談・通報は匿名で行うことができ、内容に関する秘密も守られます。調査の結果、虐待がなかったとしても、連絡者が責任を問われることはありません

虐待を防ぐためにできること

虐待を防止するためには“虐待をしない、させない、助けて”と言える地域づくりが重要です。深刻な事態を防ぐために、地域の温かい見守りや支え合い、介護や認知症など高齢者を取り巻く環境の適切な理解が必要です。

地域の皆さんへ

お近くの高齢者の困り事やご本人では気づきにくい変化は、地域の皆さんだからこそ気付くことができる場合があります。「今までと違うな」「様子が心配だな」と思ったら、市介護福祉課またはお近くの地域包括支援センターにご相談ください。

世界糖尿病デー

詳細 健康支援課 ☎(32)6410

11月14日は世界糖尿病デーです。糖尿病の早期発見、早期治療、偏見解消に向け、市内10カ所でブルーライトアップや糖尿病市民公開講座を実施します。「糖尿病」について、一緒に考えてみませんか。

①ブルーライトアップ苦小牧 日時 11月14日(金) 17時～21時

場所 イオンモール苦小牧、苦小牧信用金庫本店、緑ヶ丘公園展望台、nepiaアイスアリーナ、苦小牧西港フェリーターミナル、キラキラ公園(モニュメント)、市立病院、よしだ内科循環器クリニック、科学センター、浄土真宗本願寺派正光寺

②糖尿病市民公開講座 日時 11月22日(土) 14時～16時

場所 市民会館 小ホール (直接会場へお越しください)

内容 総司会：王子総合病院 副院長/苦小牧市医師会 理事 三木 隆幸 氏

講演1:「糖尿病について」 王子総合病院 医師 柴田 智 氏

講演2:「今日からできる!糖尿病を防ぐ暮らしのコツ」 よしだ内科循環器クリニック 看護師 坪井 方雪 氏

講演3:「糖尿病の運動療法と続けるコツ」 真和會苦小牧病院 理学療法士 本間 良和 氏

特別講演:「糖尿病と上手につきあうための食事のお話し」 武庫川女子大学 食物栄養科学部食物栄養学科 教授 川手 由香 氏



▲詳細